

タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成28年12月10日（土）午後2時～3時30分

場 所 上福岡四丁目集会所（上福岡4丁目町内会）

参加者 32 人



主な意見等

参加者 上福岡 4 丁目地内の「止まれ」や「スピード落とせ」などの道路標示、路肩の白線が消えてしまい分からない箇所があるので、それをはっきり分かるように補修してほしいです。杉並クロバー公園では、子どもがボール遊びをしています、道路に飛び出す可能性があり危険だと思います。道路標示には徐行の文字が書いてありますが、見えづらいので「飛び出し注意」などの立て看板にしてはどうでしょうか。

また、スクランブル交差点の歩道を自転車で通行する方が大勢います。「自転車を降りて渡りましょう」という看板が 3 本ありますが、目に入りにくいのが現状です。その看板には、ふじみ野市と東入間警察署の名前が入っていますが、実際に、降りて渡ろうといった声掛けが必要ではないでしょうか。先日も横浜市中区で登校児童が亡くなった事故が起きました。事故が起きてからでは遅いので、起こる前の対策を考えてほしいと思います。

市 長 4 丁目地内の道路標示等はなるべく早く対応したいと思います。杉並クロバー公園の標示については、飛び出し注意などの立て看板の掲示を考えます。

スクランブル交差点の問題は、おっしゃるとおり啓発が必要だと感じます。現在、交通安全運動の期間中で、今年 6 月には自転車に関する条例がふじみ野市、富士見市、三芳町の二市一町で施行され

ました。東入間警察署管内では自転車事故が多いので、速やかに対応していきたいと思います。

参加者 上福岡駅東口側に暴力団関係者が幹部を迎えていたことがあり、パトカーが張っていた時期がありましたが、市民としては不安でした。市としての対応は何か考えているのでしょうか。

市 長 上福岡駅東口側に暴力団の事務所が存在しており、パトカーが止まって抑止していた時期もありました。行政として何か対応することは難しいですが、東入間警察署では重点的に対策を行っています。マンションの一室などは暴力団関係者には貸さないとしています。準構成員やその方の知り合い名義などを使用して借りている場合があります。それに対しては、警察でも法的に排除するようにしているようです。

参加者 先日、環境センターの見学にいきましたが、素晴らしい施設だと感じました。自転車などのリサイクル品を安く購入できる場所もあり良かったです。別の日にエコパの見学にも行きましたが、評判どおりの施設で、健康相談室やプールも無料で利用でき、高齢者を中心にもっとエコパを活用してほしいと感じました。

しかし、市内循環ワゴンを利用してエコパに行こうとすると、4丁目地内の停留所が少なく行きづらいです。4丁目地内の道路は幼稚園のバスも走っているので、広さには支障がないと思うため、停留所の増加を検討してほしいです。

市 長 エコパのプールの浮力を使って歩行することで、腰や膝の痛みが軽減されたなどの話を聞いています。一方、交通手段としては課題があり、市内循環ワゴンはもっと停留所やコースなどを増やしていけばいいと考えています。現在は実証運行中であり、市民の声を聞いたり、需要を検証したりしながら、改善して利便性を高めていきます。エコパへの行き方については、何らかの検討を進めていきたいと思います。

参加者 防災訓練を実施した際、上福岡西公民館に行きましたが、その地下が真っ暗になったりするので、インフラの面で心配があります。また、来年 11 月にも防災訓練を実施しますが、家が倒壊したりした際など、助けが必要となるのは高齢者が中心ではないでしょうか。そこで、中学生や高校生といった災害時の戦力を活用できるように一緒に防災訓練を行いたいと考えています。先日も中学校が地域の清掃活動を一斉に行ったので、やろうと思えば可能であると思います。

市 長 ご提案のとおり、曜日や季節問わず、平日に地元にいる方は高齢者、学生です。特に、中学生は地元の方がほとんどなので、万が一の時には戦力となるでしょう。その方たちを何らかの形で防災訓練に参加してほしいと教育委員会にも話をしています。学校のカリキュラムも過密になっていますが、災害対策においては今後、協力してほしいと思っています。

防災訓練などでは、4 丁目の皆様はまず杉並クローバー公園に行くように訓練していますが、実際の災害時には、ご自宅の近くに駐車場など一時避難できる場所があれば必ずしも指定避難場所に行かなくても良いと考えます。その時の状況次第で、指定避難所に行かなければいけないというわけではなく、指定されている場所以外でも、落ち着くまでは身近なところで身を守ってほしいと思います。

上福岡西公民館の地下については、電気が止まれば真っ暗になってしまいます。西公民館に限ったことではなく、すべての公共施設の完備を完璧にするのは限界があるので、ふれあい広場やサービスセンターなどを活用していきたいと思います。また、西公民館の地下施設は地盤が強く、守られやすいと聞いています。想定外の場合は皆様の不安を解消できるような取り組みを進めていきたいと思います。

参加者 運動公園によく散歩で行きますが、以前のプールを取り壊して何ができるのでしょうか。また、旧福岡高校跡地は県から市が買い取ったと聞いていますが、何ができるのでしょうか。

市 長 運動公園には昔使用していたプールがあり、老朽化して使用不可になっていました。運動公園の下はゴミを溜める場所であったため、ゴミが埋まっていたことがあり、人体に影響がない程度のガスが発

生していました。そのため、プールを壊すことで、そのガスが問題になる恐れがありましたが、調査により壊せるということが分かり、解体することができました。プールの跡地は、運動公園全体の整備計画では、サッカーなどができる多目的広場やテニスコートの増設、弓道場をつくるとしています。また弓道場については、大井総合体育館近くの弓道場が老朽化していることもあり、場合によっては運動公園に新たに作る弓道場にまとめる可能性もあります。

旧福岡高校の跡地は県から購入できることになり、12月の市議会で議案の可決承認をもらえれば、来年1月から校舎の解体が始められます。そこでは、野球とサッカーが行えるスペースを確保する予定です。また、市内の運動会なども実施できるのではないのでしょうか。

参加者 小金井市では高齢者の個人年金が少なく困窮している人が多いと聞いています。持ち家を持っている人の場合、個人年金は5～6万円しかなく、固定資産税も支払うとなると生活が厳しくなります。例えば、持ち家などを市として担保に取り、貸し出しなどができないのでしょうか。高齢者が増えてきていますが、売るに売れない状況が増えていきます。社協ではリバースモーゲージを実験的に行っています。市でも可能であるならば、考えてほしいです。

市長 行政として担保を取り、貸し出すことは容易なことではありません。しかし、年金だけでは生活に困るという方が多いので何とかしたいのですが、行政として担保を取ることは制度的に課題が多い状況です。財産を活用して、売り払うのではなく、住みながら生活を安定させるやり方があればいいと思います。生活保護費では最低生活費の水準に届くのに、年金では生活水準に届かないとなると不公平になってしまいます。小規模住宅の場合、それを持っても一定の基準で生活保護を受けられます。リバースモーゲージ制度を活用していけばいいと思いますが、国の制度等の改善も必要ではないのでしょうか。

参加者 県道の東武東上線の踏切が閉まると、りそな銀行の前などでは車が横断歩道上に止まってしまい、歩行者が渡る場所がなくなってし

まいます。そのことを警察の方に聞いたところ、「その都度言ってくれ」という回答でした。警察全体で対応を行ってほしいと思いますし、実態を理解しているのか不明でした。高齢者の方は、事故にあり可能性があり危険だと思います。

町内の路地で、車がウインカーを出さないことが常態化しています。踏切でも歩行者が通る場所を自転車利用者が理解していないようです。小学校や中学校では交通安全教育指導を行っていると思いますが、大人が理解できていないので、交通安全を徹底してほしいです。

犬猫の糞尿問題では、法的には限界があり先駆的に対応しているところもあるようですが、強制力がなく困っている方が多いと思います。実際、自宅に猫が入り、被害を受けたこともあります。

杉並クローバー公園では、公園の愛護会が花を植えた次の日に、足跡がついていたり、花を取られたりしています。

市長 行政として対応に限界があるのは事実ですが、お話しいただいた内容は、ほとんどがその方々のモラルやマナーの問題だと思います。行政は限りある税金を使用して対応していますが、このままでは社会保障だけで使い切ってしまう。もし、この街を少しでも安全安心にしていこうとするのであれば、行政だけではなく地域全体で変えていかなければなりません。本来、行政が行ってきたことをボランティアの方が手伝ってくれたり担ってくれたりしていることもあります。市を安全安心にしていくためには、地域の方々の協力が必要であると思いますし、お話しいただいた課題を参考にしながら、今生きている私たちが未来をよくしていきたいと思います。

参加者 東武東上線について、ふじみ野駅で車両交換を行うため踏切がすぐに閉まってしまいますが、高齢者が渡り始め、ハラハラしてしまうことがありました。すぐ閉まるのであれば、開けないようにしてもらえないのか対応してほしいです。

市長 南台の踏切でも、開き始めた段階で、すぐにまた鳴り始めることもあり、高齢者では間に合わないと思うことがあります。現在、和光、朝霞、志木、新座、富士見、川越の市長で東上線対策協議会を構成し、東武東上線幹部の方々と話す機会があり、ホームドアの設

置などを要望していますが、踏切についてはなかなか改善できていないのが現状です。

県道の踏切でも、高齢者が渡り切れない場面を見かけたこともありますし、子どもの自転車の後部が遮断機に引っ掛かっていたのを見かけました。引き続き、要望を出していきます。